

市立病院 診療所 改革プラン



特別委員会で動議

年内策定に待った！

予算議会で議論できるよう

市長に申し入れ

12月定例会終了後の12月24日、市立病院・診療所改革プラン調査特別委員会（委員長…今野裕文議員）が開かれ、2回目の市民説明会や、市が諮問機関と位置付ける地域医療懇話会の状況を踏まえた市長の考え方について改めて質しました。市長は、「前沢、衣川両診療所の入院病床休床化を中心に地元の反対意見は依然根強いが、地域医療懇話会委員からは概ね賛意をいただいている」と述べました。その上で「休床化問題を外しての医療環境の改善策は見当たらない。市民全体の利益を損なうことがないよう厳しい医療環境を一刻も早く改善するために今判断が必要」と先送りしない考えを改めて示しました。



小沢市長に申入書を手渡す今野委員長

これに対して委員からは、「策定には一呼吸置くべき」とか「市民が納得するまで検討してほしい」など意見が相次ぎ、市当局プランの年内策定方針について「12月中旬に決定せず、少なくとも予算議会を待つように市長に求める」とした動議が提出され、採決の結果賛成多数で可決しました。

特別委員会ではこのことを受け、12月26日市長に対して申し入れを行いました。

質問 プランを策定する上では、市民の不安を払拭するための代替案も併せて提示すべきと思うが。

答弁 まずは今の厳しい現状をどうするかが第一義と考え、その上でこれからどうするかを考えていきたい。

質問 移動診療車の目途が立たない場合、それでも26年度から江刺の4診療所は廃止するのか。

答弁 代替案をもって廃止ということから、それが整わなければ現状のままとすることになる。

質問 診療所のベットの活用しながらというが、本当にそれが叶うのか。

答弁 医療と介護の連携を図りながらそれらの課題にも対応していく。

まずは市の医療体制を抜本的に改善し、しっかりと構築していくことが大切であると考えている。

動議に対する討論

反対討論

・改革プラン策定に当たっては特別委員会を設置し、請願等については全会一致で採択をした。それに對して市長がどのように判断するかは、それを重んじるべきだと思う。ここで動議を提出し凍結だという話は成り立たないし、やるべきではない。これまでの論議で十分であると考え、動議の提出に反対する。

賛成討論

・全会一致で請願を採択し、また定例会で決議を挙げた。しかし、市長は、年内にそのまま決めたいと話している。議会の役割として住民の声をどのように市長に対して反映をさせていくかが問われている。議会として最善を尽くすことから、動議を提出することに賛成する。

・住民説明会特にも衣川・前沢会場では、診療所を休床する改革プランに対し不安を抱き、地域医療が守られるのかという不安の思いが伝わってきた。もう一度時間を掛けて考えるべきではないかと思う、動議を提出することに賛成する。

奥州市立病院・診療所改革プラン策定に係る申入書

市議会は、「奥州市立病院・診療所改革プラン」の策定にあたり、示された改革プランの内容を調査し、議会として提言することを目的に、本年9月に「市立病院・診療所改革プラン調査特別委員会」を設置し、今日まで議論を進めてきたところです。

この間、9月定例会では、「プランの策定に当たっては、地域住民の声をよく聞くこと」とする請願を全会一致で採択し、さらに12月定例会では、「市民の不安を解消するための丁寧な説明をし、市民の声を反映した改革プランとすること」及び「県及び市内医療機関等と十分な調整を行い、市の役割分担や生活圏域の医療体制を総合的に見据えた改革プランとすること」を市長に求める決議を行ったところです。

しかし、市長が再度住民説明会で示したプランでは、市民の不安は未だ解消されないままであり、現時点でのプラン決定は時期尚早と言えます。

以上のことを踏まえ、本委員会はより良いプランとするため、市長に対し下記のとおり申し入れます。

記

「奥州市立病院・診療所改革プラン」の策定にあたっては、さらに慎重な検討を行い、次期議会定例会において審議できるよう取り計らうこと。

平成25年12月26日

奥州市議会市立病院・診療所改革プラン調査特別委員会

奥州市長 小沢昌記様